

ビジアド

Business
Administration



No.8

発行日 2007年1月17日

編集 関西学院大学商学部

学術講演会報告

前号（第7号、10月31日発行）で、今年度第4回までの学術講演会の紹介を行っていますが、それ以降も4回の学術講演会が開かれています。以下はその演題と講師です。

11月27日

「EUIにおけるコーポレート・ガバナンス」

ベルリン技術経済大学教授（元副学長）
ユルゲン・ケスラー氏



12月4日

「グローバル化社会における企業とヒトの生き方—21世紀は社会への貢献度を競い合う時代—」

中外製薬株式会社顧問 岡崎彬氏

12月11日

「ロバスト・デザインと国際競争力—日本企業に秘められた競争力の源—」

米国テンプル大学フォックス経営大学院教授
小田部正明氏

12月12日

「カシミヤ・ビクニヤをとりまく環境と中国、ペルー」

株式会社リーフ代表取締役 宮嶋勇幸氏

2007年度ゼミ（研究演習）所属の確定

第2学年の秋学期の開始と一緒に始まりました「2007年度のゼミ所属」が、先日確定しました。商学部では、第3学年に「研究演習Ⅰ」、第4学年に「研究演習Ⅱ」が履修できます。2年間にわたる専門分野のゼミ活動を通じて、担当の先生や同じ目的意識をもった仲間たちと、「将来の夢」について大いに語り合いましょう。来年度にゼミ選考をする1年生の皆さんには、多くの授業を通じて、様々な専門分野があることを認識しておきましょう。

秋学期試験始まる！

今年度も早いもので残すところわずかとなり、秋学期の定期試験の時期を迎えました。



商学部オブジェ紹介

Q. この写真と同じオブジェが商学部本館のどこかにあります。

さて、どこにあるでしょうか？

（このオブジェの紹介については裏面をご覧ください。）



みんなで応援しよう！
阪神からドラフト4巡目指名
「1月10日から阪神タイガースの寮に入ります」



商学部4年 清水 誉 (しみず たかし) 君
「関学に進学して、スポーツと学業が両立できる環境で4年間野球に打ち込めたことに本当に感謝しています。素晴らしいコーチや友人達にも恵まれました。

また、先日、同じ関学商学部出身の田口壮選手（セントルイスカージナルス）と練習をさせていただいた時は、田口選手のオーラを感じました。田口選手のような超一流の選手と一緒に練習をし、同じレベルを目指して頑張ろうとしたことは本当に良い勉強になりました。

阪神タイガースは地元の球団で、周りにタイガースファンも多いですし、学生や友達が注目してくれます。みんなの期待に応えられるように一日でも早く1軍に上がって頑張りたいです。」



～表面のオブジェについて～

表面の「愛」と書かれた額は、H.W. アウターブリッヂ第7代院長（在任1954～56年）の筆になるもので、元々は、商学部本館の西隣（現在の第4別館）にあった商学部旧チャペルの正面入口に飾られていました。アウターブリッヂ院長は、「愛」という字には「心」と「友」があるので好きだと言っておられたそうです。チャペルで身につけるべきもっとも大事なものが何であるかをこの書は示しています。



<< 教員紹介 >>

海道 ノブチカ 教授

株主利益重視のアングロサクソン型の企業経営がグローバルスタンダードであるという考え方支配的ですが、株主以外のステークホルダーも考慮したヨーロッパ型の企業経営には、どのような特徴があるかを授

業を通して学生の皆さんに伝えています。EUについてもと知つてもらうため関学では神戸大学、大阪大学とで EU インスティテュート関西 (EUIJ 関西) を立ち上げ、3大学単位互換の様々な授業をおこなっています。図書館3階の産業研究所が EUIJ 関西の関学事務局です。資料がいろいろありますのでぜひお立ち寄りください。

前号のクイズの答え

前回紹介した絵画は、商学部本館2階のチャペルに飾られています。
(右の写真を参照してください。)



退職教員より

辻 学 宗教主事

1997年4月から10年間、宗教主事として勤めた商学部をこの3月で辞することになりました。キリスト教の狭い世界で育ってきた自分には、経営や会計、マーケティングといった商学部の世界は非常に新鮮で、驚きに満ちていましたが、どちらかといえば、宗教に携わってばかりいた自分のほうが「変わっている」のだと気づくまでにそう時間はかかりませんでした。今ではすっかりこの水に自分も馴染んで、「商学部的」な発想のできる宗教主事になったと思います。

商学部では素晴らしい同僚や学生諸君との出会いが数多くありました。その一つ一つが自分の宝です。商学部に来て本当に良かったと思っています。

4月からは広島大学で宗教学（キリスト教思想）を教えることになりました。国立大学でキリスト教を講じるというのもまた新鮮な、未知の領域です。商学部で学んだことを大事にしつつ、新しい出会いを期待して広島へ旅立ちたいと思います。ありがとうございました。



安田 智子 専任講師

米国留学時代、Banking の授業の話です。大変厳しい授業で、毎月2度の論述テストがありました。渡米直後の私には歯が立たず、いつも泣いていました。努力しても結果が出ないということをはじめて体験しました。それでも毎回、モデルをきちんと書いて粘りに粘つて・・・そして最終試験の日、私に下された判定は「B プラス」。思わず先生に「Thank you!」とお礼を言つたら、先生は怖い顔で「No, you acquired.」と私をたしなめた後、満面の笑み。「結果とは自分で獲得する (acquire) ものなんだ」と知りました。

